

新型コロナウイルスワクチンの投与開始初期の重点的調査（コホート調査）について

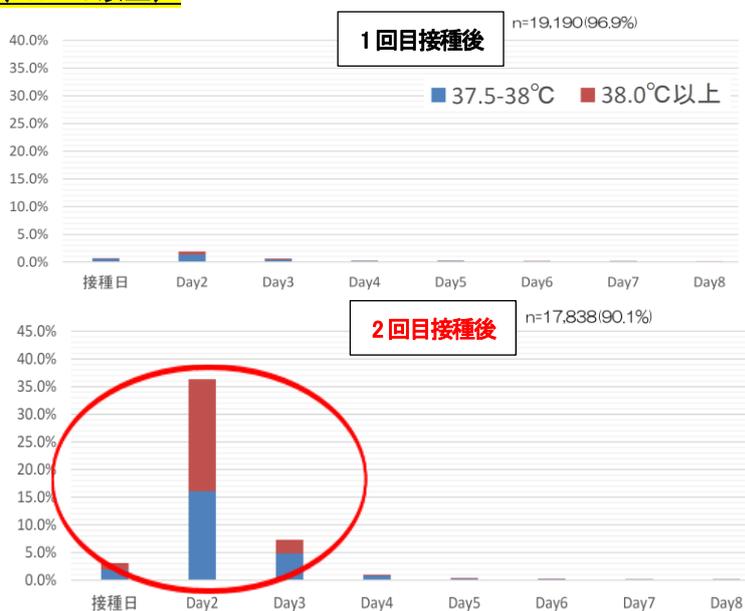
約2万人の安全性情報を収集し、国民の皆様に新型コロナワクチンの安全性情報を発信するために、医療従事者のワクチン被接種者を対象に前向き観察研究として健康観察日誌による調査が行われました。

当院においては300名の職員が調査に協力しました。ご協力ありがとうございました。

今回の調査対象者約2万人の属性は、20代が21%、30代が24%、40代が25%、50代が21%、60代以上は9%でした。性別は男性34%、女性66%でした。

約2万人の接種後8日間の健康観察日誌の中間結果から一部を下記に示します。（「新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査（コホート調査）第6版 2021年4月30日現在」より）

発熱（37.5℃以上）

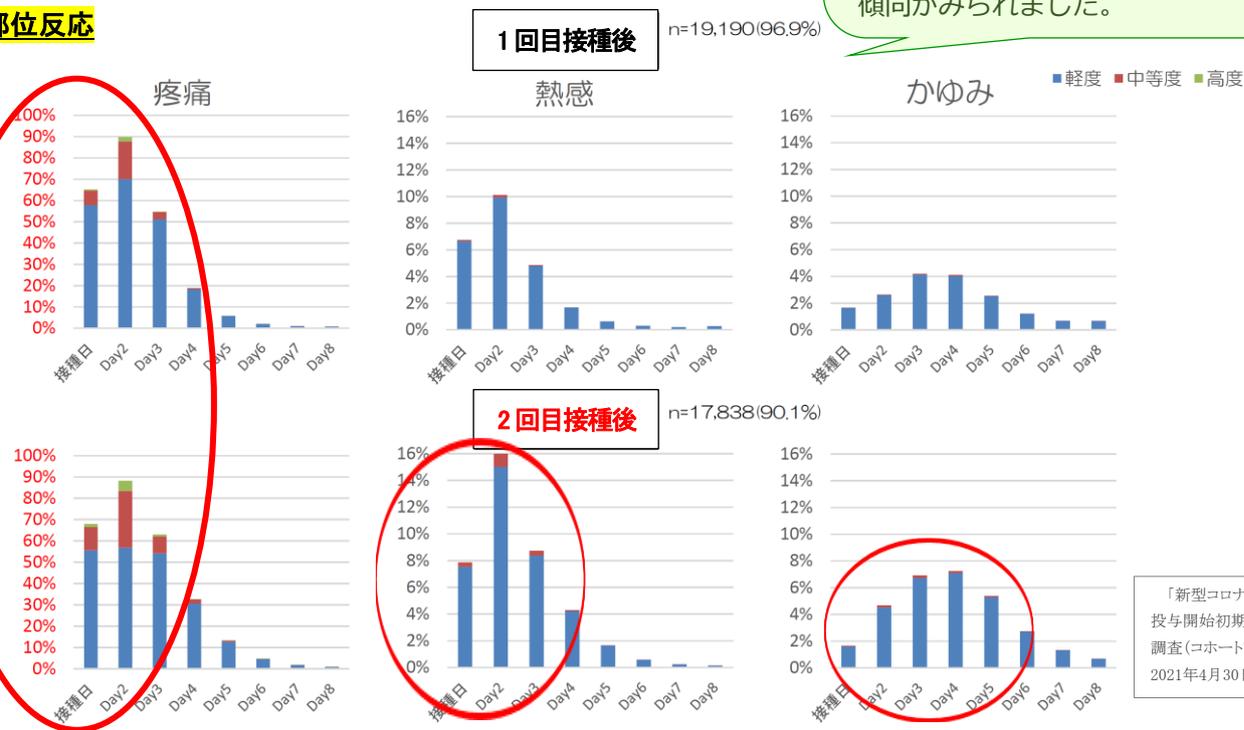


全国約2万人の中間結果です

37.5度以上の発熱は2回目接種後の接種2日後に多く、約4割弱の人にみられましたが、大半は一過性でその翌日には軽快しました。

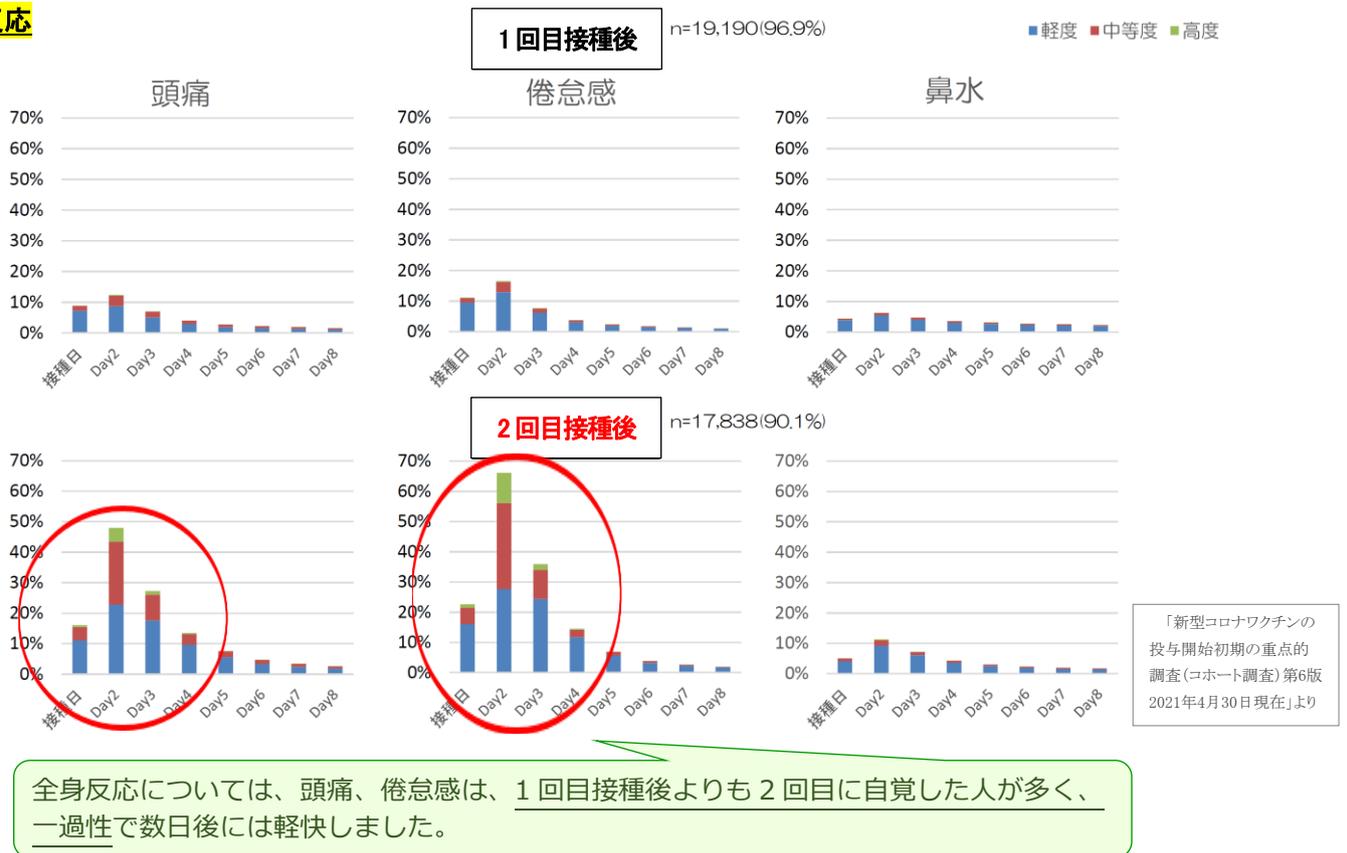
接種部位の疼痛は1回目、2回目ともに接種後から数日間、約9割の人にみられました。熱感、かゆみは2回目接種後に自覚した人が多い傾向がみられました。

接種部位反応



「新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査（コホート調査）第6版 2021年4月30日現在」より

全身反応



以上の結果について、年齢別にみた結果では、37.5度以上の発熱、全身反応の倦怠感、頭痛は年齢が低い方が、発症する確率が高い傾向がみられています。
 接種部位反応の疼痛については、20~60歳代では年代による顕著な差はみられませんが、70歳代では発症頻度が少なくなっていました。

副反応疑い報告

接種直後(30分以内)の有害事象で、報告が多かった順で上位3位までは以下の通りでした。

【接種1回目】

- 1 発疹 11例
- 2 そう痒症 10例
- 3 失神寸前の状態 8例

【接種2回目】

- 1 動悸 11例
- 2 発疹 11例
- 3 悪心 8例

アナフィラキシー反応・ショックについては、今回は接種2回目に3例の報告があったのみでした。

その他の副反応疑い報告の重篤な有害事象として、**突発性難聴、三叉神経障害、末梢性顔面神経麻痺などの神経障害、肺炎、労作性狭心症、急性冠症候群及び心筋炎疑い**などの報告もありました。

これらの結果について詳細をご覧になりたい場合は、下記サイトをご参照ください。

- 順天堂大学新型コロナワクチンの投与開始初期の重点的調査(コホート調査) 研究事務局
<https://www.juntendo.ac.jp/jcrtc/about/results-of-activity/COVID19/covidresearch.html>
- 厚生労働省厚生科学審議会(予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会)
https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html